

テルマエ展 お風呂でつながる古代ローマと日本

パナソニック汐留美術館 24.04.06～06.09 神戸、甲府、大分に巡回

人類史上に輝く繁栄を誇った「古代ローマ」。なかでも、その豊かな暮らしと優れた建築技術を象徴するのが、「テルマエ（公共浴場）」であり、とりわけ「ヤマザキマリ」氏の漫画『テルマエ・ロマエ』によって有名となった。

本展は、「ナポリ国立考古学博物館」所蔵の絵画、彫刻、考古資料を含む「100件以上」の作品や映像に模型等を通して、「テルマエ」を紹介している。

また、独自の風土の中で育まれた「日本の入浴文化」も取り上げ、『テルマエ・ロマエ』の主人公「ルシウス」が浴場を通して日本とローマを往復したように、それぞれの入浴文化を体験することのできる機会となるものである。

<展覧会の見どころと特徴>

1. イタリア・ナポリ国立考古学博物館から《恥じらいのヴィーナス》や《アポロとニンフへの奉納浮彫》など「32件」が来日！



2. 映像や模型等を通して古代ローマと日本浴場文化を分かりやすく紹介！
3. 温泉や銭湯から内風呂まで、国内の風呂文化の歴史と地域制にも注目！



歌川国貞 《江戸名所百人美女御殿山》 1858（安政5）年 木版色摺
豊原国周 《肌競花（はだくらべはな）の勝婦湯》 1868（明治元）年